

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2024 No.579

3 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第1回日本放射線医療技術学術大会 (沖縄) における演題登録について

本会学術大会における演題登録までの流れについて、倫理委員会では以下の演題区分とフローチャートを策定しました。

演題区分については、カテゴリー分類を「研究」と「報告」に分けています。

2021年に「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」が新たに制定され、その後、個人情報保護法の改正に伴い、2022年3月に倫理指針の一部改正が行われ、基本的に人を対象とする研究は、倫理審査委員会の承認を得て行う必要があることから、学術大会の演題募集においても、倫理審査委員会の承認番号などを明記していただくことになりました。「研究」のカテゴリーはこれを受けてのものです。

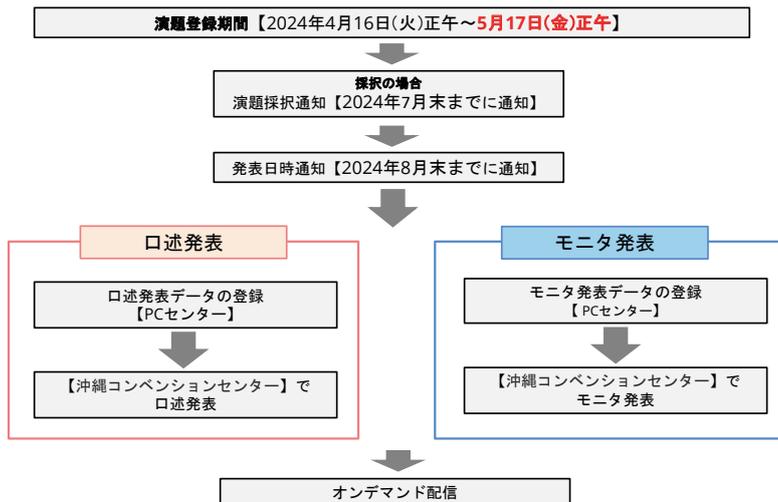
一方、症例報告や技術報告、日常の診療や業務改善、さまざまな提案などは「報告」というカテゴリーで募集します。

また人を対象としないファントム実験などについては「研究」として、研究計画や結果の分析ができていない場合には「報告」として発表していただくこともご検討ください。

詳細は、本会会誌3月号から掲載されている演題募集要項をご覧ください。

(倫理委員会)

演題応募から発表までの流れ



演題締切から演題採択までの流れ



演題区分

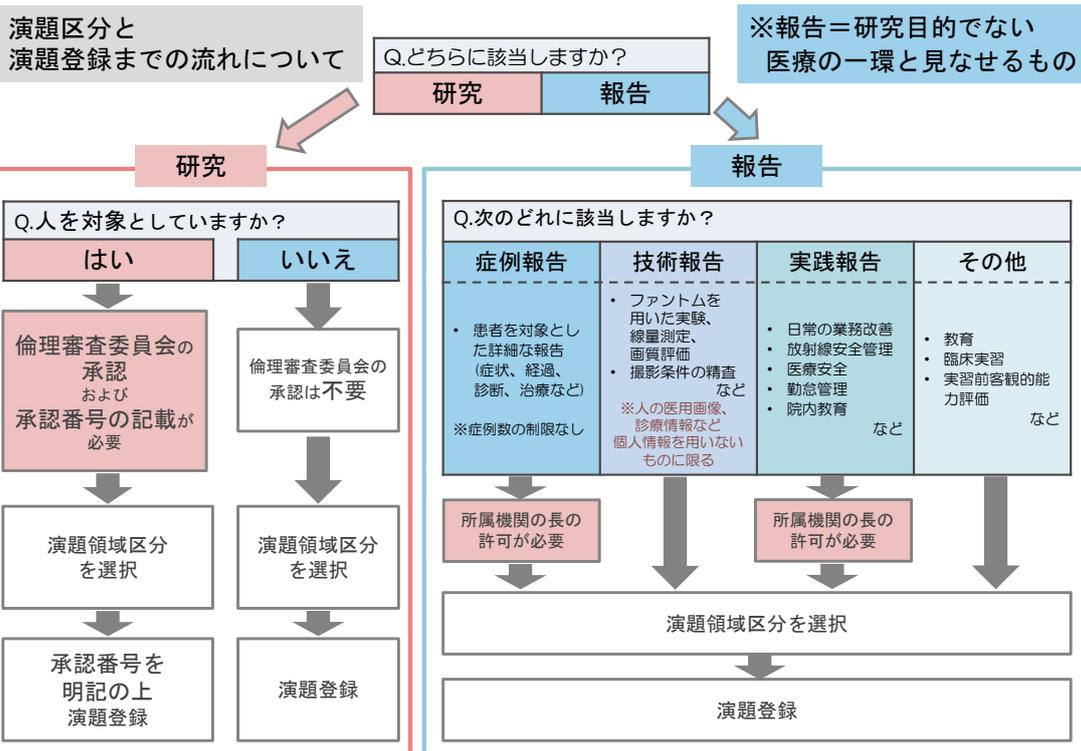
「症例報告」について

研究	人を対象とした研究	倫理審査委員会の承認が 必要
	人を対象としない研究	倫理審査委員会の承認は 不要
報告	症例報告	個々の患者についての詳細な報告であり、症状、経過、診断、治療などの詳細についてまとめたもの（ただし症例数については定義しない） 施設のルールに従って 所属機関の長の許可が必要
	技術報告	ファントムを用いた実験、線量測定、画質評価、撮影条件の横断調査など、データ取得過程も含め、人の個人情報、医用画像や診療情報を用いず、主に物理的な事実を検証し、その理解を広めることを目的としたもの
	実践報告	日常の業務改善、放射線の安全管理、医療安全、勤怠管理、院内教育等について詳細をまとめたもの 施設のルールに従って 所属機関の長の許可が必要
	その他	教育、臨床実習、実習前客観的能力試験など、その他教育等についての詳細をまとめたもの

- 1) 症例報告では、個々の症例を提示し、その症例に関する検討を行うものである。結果を解析するなど他へ適用できる医学的知見を導く場合は研究と見なされる。
- 2) 症例報告の症例数は制限を設けない。複数の症例であっても、個々の症例を全て提示する症例報告の体裁が整っていれば、症例報告として認められる。
- 3) 症例の件数のみを報告する場合は、症例報告として認める。しかし、その結果を比較したり傾向を示す場合は、症例報告として認められない。
- 4) 症例報告で演題登録する場合には、所属機関の長の許可が必要である。

「報告」の例示

- 症例報告
Dynamic CT検査で発見された微小肝腫瘍の症例報告
Covid-19 ワクチン接種がMRI乳がん検診に影響した一例
- 技術報告
CT評価用ファントムを用いた被ばく低減のための撮影条件の検討
- 実践報告
IGRTにおけるタスク・シフト/シェアの実践報告
- その他
技師教育におけるマニュアル作成の有用性のアンケート報告
(患者へのアンケート調査は、研究カテゴリとなる)



本会への入会手続きについて (お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<https://www.jart.jp>) から “新規入会” をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-4226-2211 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

INFORMATION

2023年度 診療放射線技師基礎講習（会場型） 基礎技術コース「乳房撮影」開催報告

公益社団法人静岡県放射線技師会
生涯教育委員 曾我 隆正

2024年1月21日（日）、アクトシティ浜松 研修交流センターで、診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース「乳房撮影」を開催しました。本講習会は中日本地域において4年前より開催を希望しておりましたが、新型コロナウイルス感染症のまん延により会場の確保が難しいことなどがあって、会場参加型の講習会の開催ができず延期が続いていました。本年度は規制が緩和され、ようやく開催することができました。もちろんJARTの会場型講習会等開催ガイドラインに基づいて感染防止に努め、細心の注意を払って開催しました。

受講者数は当日の欠席者もあり、15人という少し寂しい感じとなってしまいましたが、県外からの方や若手・中堅の幅広い年齢層の方に受講していただきました。

内容は乳房撮影に関して、乳がんの臨床、読影とカテゴリー



分類、マンモグラフィーの基礎と品質管理、デジタルマンモグラフィー、撮影技術と臨床画像評価基準、乳腺超音波、乳腺MRIといった幅広い範囲を、静岡県内のご高名な講師の方々から非常に分かりやすく講義していただきました。最後に確認テストを行い、無事に終了することができました。

静岡県では、来年度も引き続き基礎講習会を開催していく予定です。今後も魅力ある講習会を開催していこうと思いますので、ご参加をお待ちしております。

2023年度 診療放射線技師基礎講習（会場型） 基礎技術コース「超音波検査」開催報告

公益社団法人岐阜県診療放射線技師会
理事 尾関 裕一

2024年1月21日（日）、岐阜県岐阜市内「じゅうろくプラザ」大会議室で診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース「超音波検査」を開催致しました。

講習会定員は50人、参加申込者は47人。当日はあいにくの雨模様でしたが45人の方が受講されました。

今回は、～人体すべての領域における超音波検査についての講習～というテーマを軸とした内容にしようと考え、①超音波の基礎 ②撮影技術Ⅰ・Ⅱ（基礎）③撮影技術Ⅲ・乳房 ④撮影技術Ⅲ・血管領域 ⑤撮影技術Ⅲ・上腹部領域 ⑥撮影技術Ⅲ・泌尿器領域 ⑦撮影技術Ⅲ・表在（甲状腺等）⑧撮影技術



Ⅲ・心臓領域——の8領域についての講義と致しました。また若い診療放射線技師会員の方々にも興味を持っていただけるよう、超音波研究会世話人や技師会役員で講義内容を精査・検討し、極力分かりやすい内容をと心掛けました。参加者の皆さまにも「分かりやすく有意義な内容でした」とのお言葉を頂き、役員一同安堵しております。

今回の講習会で、超音波検査に興味を持っていただける会員が増えることを期待致します。

最後になりますが、本講習会にご参加いただきました会員の皆さま、ならびに講習会開催に当たりご協力いただきました講師の先生方、世話人ならびに役員の方々に心よりお礼申し上げます。



2023年度 災害支援認定診療放射線技師 講習会 開催報告

災害支援認定診療放射線技師分科会 分科会長
中田 正明 (兵庫県災害医療センター／神戸赤十字病院)

2024年1月21日(日)、兵庫県災害医療センターで、災害支援認定診療放射線技師講習会が開催されました。

本会は、原子力などの放射線災害および自然災害において、被災地での医療救援活動の役割を担う診療放射線技師を災害支援診療放射線技師としてその活動を推進し、特に、災害支援診療放射線技師のリーダーとしての役割を担う診療放射線技師を「災害支援認定診療放射線技師」(以下、災害支援認定技師)として認定しています。認定申請のためには、本講習会の受講および確認試験に合格することが要件となります。

講習会は30人の定員制で、座学と放射線サーベイ、下肢静脈超音波検査の実技、災害対応シミュレーション(支援・受援)で構成されています。今回は令和6年能登半島地震の支援活動のために、1人の受講者が欠席となり29人で開催しました。

放射線サーベイは、1グループの1人にタイベックススーツ・ブーツカバー・手袋・マスクなどを実際に身に着的いただき、サーベイを行う実践的な実習を行いました(写真1)。実習時間を多く設定し、全ての皆さんに2回程度は実施していただきました。

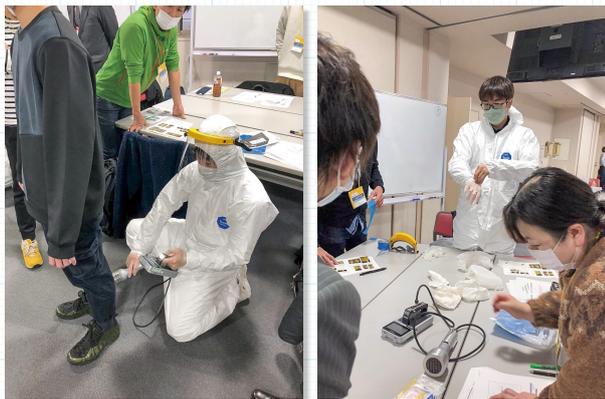


写真1

下肢静脈超音波検査実技では、避難住民の下肢静脈血栓症の好発部位である膝窩静脈・腓腹静脈・ヒラメ静脈を中心に超音波解剖と走査実技を行います。超音波検査未経験者であっても、基本的な下肢静脈の超音波解剖と走査手技を理解していただける実習を行っており、機器メーカーさまに多大なるご協力を頂き、実習環境も非常に充実しています(写真2)。



写真2

午後からの災害対応シミュレーションでは、認定を受けた後に、実際に災害現場で支援することを想定して、どのような準備が必要で、被災地ではどのような活動をし、留意するべきかという点についてディスカッションしました。また逆に、被災地となった場合の対応についてもシミュレーションを行いました。これは主にBCP(業務継続計画)を中心に、自分たちの施設や放射線部門でどのような準備をしたらいいか、また実際の被災後の対応についてディスカッションを通じて学習しました(写真3)。



写真3

【講習会プログラム】

事前 e-ラーニング学習

1. 災害の概要と関連法規
2. 災害時医療の概要
3. 放射線災害の特徴と防護および緊急被ばく医療
4. 医療施設への撮影業務支援の留意点と管理区域外X線撮影
5. 放射線災害での被ばく相談対応
6. 放射線サーベイ・除染
7. 避難所における下肢静脈超音波検査の留意点

集合形式講習会 [2024年1月21日(日)]

- | | |
|-------------|---------------------|
| 9:00~10:00 | 1. 放射線サーベイ実習 |
| 10:10~11:40 | 2. 下肢静脈超音波検査実習 |
| 11:40~12:40 | 昼食 |
| 12:40~13:35 | 3. 災害対応シミュレーション(支援) |
| 13:40~14:40 | 4. 災害対応シミュレーション(受援) |
| 14:40~14:50 | 閉会あいさつ(修了証書授与) |
| 15:10~16:10 | 確認試験 |

今後の災害支援認定技師認定制度の発展のためには、行政や医師会、関連団体への広報活動、機器メーカーとの協力関係、本会と地区技師会の連携など、災害支援認定技師がスムーズに活動を行えるように、今後、解決しなければならない課題があります。

2024(令和6)年1月1日に発生した能登半島地震においては、多くの医療従事者が支援活動を実施しており、本会からは計8人の支援技師を穴水町の医療施設に派遣し業務支援を行いました。

このように、災害大国といわれる日本では、大規模災害がいつ発生してもおかしくない状況であるため、社会に貢献できる認定制度を目指して進めていきたいと考えています。今後とも、会員のご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

最後に、本講習会開催に当たり、講師を務めていただきました会員の皆さま、超音波装置を提供いただきましたGEヘルスケア・ジャパン株式会社、コニカミノルタジャパン株式会社、長瀬ランダウア株式会社の皆さま、日本診療放射線技師会事務局のスタッフの皆さまに感謝申し上げます。

2023年度 放射線機器管理地域研修会 (福岡県) 開催報告

放射線機器管理士分科会

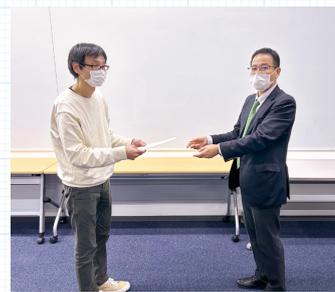
2024年1月13日(土)、福岡市、純真学園大学の講義室で「放射線機器管理地域研修会(福岡県)」を開催し、20人の方に受講していただきました。

今回の講習会では、最初に「医療機器における諸法令について」として、関係法令や機器管理の重要性ならびに認定更新における書類等の注意点などを解説し、一般撮影・放射線治療・CT・造影剤自動注入装置・核医学・MRIの全てのモダリティの機器管理の方法と実践、そして課題についての講義が行われました。講義後の全体での意見交換会では保守契約についての質問や意見が多く出され、活発な議論がなされました。参加者の皆さまの意識の高さがうかがえた研修会でした。

最近では重大な医療事故が発生していないものの、いまだMRIにおける吸着事故などが発生しており、保守点検や日常点検の実施状況、および安全使用のための研修会の実施が重要となっています。本研修会が放射線関連機器の安全管理を実践し、安全・安心な医療の提供につなげていくための動機付けの一助になればと願っています。



コロナ禍では参加型での研修会はできませんでしたが、新型コロナウイルス感染症が5類になってようやく開催でき、参加者の皆さまとの活発な意見交換・議論を行う場として、また実習を取り入れるなど会場型の良さを十分に生かした講習会が開催できました。今後も皆さまのご意見を取り入れ、研修会プログラムを作成していく予定です。詳細は、JART会誌・ホームページで広報を行いますので、多くの皆さまのご参加をお願い致します。



3月・4月の講習会などスケジュールのご案内

- 告示研修(実技研修)/業務拡大に伴う統一講習会/診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型):
本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

[e-ラーニング(ストリーミング方式)]

- 告示研修(基礎研修) 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。

INFORMATION

レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

KANAGAWA

健康チャレンジフェアかながわ2023

- 活動内容：
 - ・放射線サーベイ体験……45人
 - ・CT画像中身当てクイズ……62人

2023年11月12日（日）、横浜駅に隣接するそごう横浜店9Fの新都市プラザで「健康チャレンジフェアかながわ2023」が開催され、神奈川県放射線技師会では渉外委員会ほかメンバー5人で参加しました。このイベントは、かながわ健康財団が県民に楽しみながら健康への関心を深めてもらうために、毎年開催している無料イベントです。例年、みなとみらい地区にあるウィーンズスクエアで開催されるのですが、今年には都合により開催会場が変更となりました。



サーベイメーターで肥料や温泉の素などを測定することで、多くの方に自然放射線を身近に感じていただけました。また自然放射線量と放射線検査の被ばく線量を比較した早見図を用いて、放射線の人体への影響についての理解を深めていただきました。CT検査についての解説やCT画像のクイズは大変好評で、ブドウや魚（アジ）を撮影した画像を見て「すごい！」「面白い！」「答えが分かるとすっきりする！」などの感想が多く聞かれました。

ぜひ、来年度も技師会としてイベントに参加させていただき、啓発活動を実施したいと思います。

（神奈川県放射線技師会 渉外委員会 常務理事 金岩 清雄）



今年は「健康」は未来につながる一歩をテーマに、血管年齢や握力、肌年齢の測定ブース、日常の立ち上がりチェック、食事や栄養相談、口腔ケアの相談ブースなどが設置されていました。特に腸内フローラ（腸内細菌叢）スコアのシミュレーションブースは、長い行列ができるほど盛況であり、来場された市民の方の健康への意識の高さがうかがえました。

神奈川県放射線技師会では、放射線サーベイメーターを使用し自然放射線を測定する「放射線を測ってみよう!」、CT装置の再構成画像から撮影した物体を当てる「クイズ! CT画像これな〜に?」を実施しました。活動は正午から午後4時までと短い時間でしたが、技師会ブースには延べ107人も市民の方の来場がありました。



第44回中区民祭り ハローよこはま 2023

- 活動内容：・ プレスト・アウェアネス
（乳がん自己触診体験）……135人
・ 被ばく相談……37人

2023年11月12日（日）、横浜市中区の象の鼻パークで開催された「第44回中区民祭り ハローよこはま 2023」に、神奈川県医療専門職連合会の医療専門職の各会と共に、神奈川県放射線技師会として参加致しました。

神奈川県放射線技師会では、渉外委員会が神奈川県放射線管理士部会と合同で参加し、乳がん検診啓発活動としてプレスト・アウェアネス（乳房を管理する生活習慣）の一つ、ファントムによる乳がん触診体験、GMサーベイメーターによるサーベイ体験や放射線被ばくに関する相談を行ってきました。



乳がんは年々増えており、現在は9人に1人が乳がんといわれている時代です。「身近にいるから」と言って来られる方も年々増えております。乳がん触診体験では女性のみならず、男性やお子さまなども積極的に体験されていました。「自分も普段自己触診している、今日はおさらいしに来た」とおっしゃる方もおり、毎年同一のイベントに参加し渉外活動を行うことの大切さを実感しました。



また被ばく相談では、お子さまが乳児期に転んだ際に撮影した頭部CT検査による医療被ばくについて、十数年もの間悩まれていたお母さまがいらっしやり、「今日、来てよかった、話が聞いてよかった」と涙ながらにお礼を言ってくださる姿を見ると、こうした活動のやりがいもさらに深まりました。

今年は悪天候で、朝から小雨、そして真冬並みの寒空の中開催されましたが、乳がん触診体験は137人、被ばく相談は37人もの方々が足を運んでくださいました。実施日や場所の変更もあり、まだコロナ流行期以前ほどの来客はありませんでしたが、今後も参加していきたいと思っております。



渉外委員会では、このような神奈川県内における各地域の催しに参加しております。お近くで開催されることがあった際は、ぜひ、一緒にイベントを盛り上げていきませんか？ ご参加をお待ちしております。

（神奈川県放射線技師会 渉外委員会 理事
豊田 章子）



INFORMATION



第4回

第1回日本放射線医療技術学術大会 (1st JCRTM)

第40回日本診療放射線技師学術大会 (40th JCRT)

第52回日本放射線技術学会秋季学術大会 (52nd Autumn Scientific Congress of the JSRT)



沖縄への道 Go To OKINAWA

運営委員 瀬口 有紀乃

(一般社団法人沖縄県放射線技師会 理事)



沖縄本島中部の観光

沖縄への道、第4回は沖縄本島中部について紹介致します。

本島中部は、読谷村(よみたんそん)・嘉手納町(かてなちょう)・北谷町(ちやたんちょう)・宜野湾市(ぎのわんし)・沖縄市・西原町(にしはらちょう)・うるま市・北中城村(きたなかぐすくそん)・中城村(なかぐすくそん)・浦添市(うらそえし)の10市町村から成ります(厳密には中部と南部の境目に決まりはなく、9や8市町村という説もあります)。第2回で紹介した大会会場も中部の宜野湾市にあります。

～景観を楽しむ～

本島中部には、2000年に世界遺産(文化遺産)に登録された「琉球王国のグスクおよび関連遺産群」の9史跡のうち3史跡があります。

うるま市の勝連城(かつれんじょう)跡、読谷村の座喜味城(ざきみじょう)跡、中城村の中城城(なかぐすくじょう)跡です。3城跡とも高台に位置しているため、沖縄のきれいな海を眼下に見渡すことができます。勝連城跡の資料館では、地元の中高生によるパフォーマンス(勝連城跡の歴史にまつわる演舞)を楽しむことができます。

また勝連城跡の近くには、「海中道路」と呼ばれる勝連半島から近隣離島に伸びる全長約5kmの橋があります。海の上に橋が伸びており、四方を海に囲まれたドライブは爽快です。時間に余裕があれば、海中道路の先にある宮城島の果報(かふう)バンタもお薦めです。「果報」が「幸せを運ぶ」、「バンタ」が「崖」を意味し、約120mの高さから海を見下ろせる絶景スポットです。

～グルメを楽しむ～

本島中部には米軍基地が広く分布しており、異国の雰囲気を楽しめるお店が多くあります。浦添市の「港川ステイツサイドタウン」は、かつての外国人向け住宅街であり、現在はそれらを再利用したカフェやスイーツ、コーヒーショップの他に雑貨屋さんなどが建ち並んでいます。北谷町の「美浜アメリカンビレッジ」は海外のような街並みで、カラフルな建物やかわいいウォールアートなどフォトスポットも満載です。またエリアによっては海を見ながら食事を楽しむこともできます。本場アメリカの味を楽しめるお店としては、嘉手納町のシーサイドレストランや北中城村のローズガーデンもお薦めです。朝からステーキやハンバーガー、エッグベネディクトが楽しめます。シーサイドレストランでは会計にチップも必要なので、より海外気分を味わえると思います。

本島中部まではゆいレールが開通していないので、バスまたは車での移動ですが、好きな音楽を聴きながらドライブするのも楽しいですよ。



勝連城跡



果報バンタからの眺め



ローズガーデンで舌鼓

JCRTM2024

第1回 日本放射線 医療技術学術大会

第40回日本診療放射線技師学術大会
第52回日本放射線技術学会秋季学術大会

会場 沖縄 コンベンションセンター
会期 2024年 10月31日(木) ~ 11月3日(日)



ゆいまーる

診療放射線技術の共創
All Japan
Radiological Technology



JART

■ 大会長：上田 克彦
■ 実行委員長：富田 博信



JSRT

■ 大会長：白石 順二
■ 実行委員長：奥田 保男

【お問い合わせ先】 第1回 日本放射線医療技術学術大会運営事務局

所在地：株式会社リンクージ沖縄内 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 2-8-8-2F

TEL：050-3666-2460 / FAX：098-890-1921 / E-mail：jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp

HP：https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024



心理的安全性



「心理的安全性 (psychological safety)」とは、ハーバード大学で組織行動学を研究するエイミー・エドモンドソン教授が1999年に提唱した概念です。エドモンドソン教授によると、心理的安全性とは「支援を求めたりミス認めたりして対人関係のリスクをとっても、公式・非公式を問わず制裁を受けるような結果にならないと信じられること」であると定義しています。そして「個の職場では、率直に意見を言ったりアイデアを提供したり質問したりしても、懲らしめを受けて悪い思いをしてしまう不安がない」と感じる時に存在するものだとしています。上司や同僚に質問や相談をしたいときに「そんなことも知らないのか」と思われる不安から、質問や相談を躊躇したり、

強く叱責されることを恐れ、ミスがあっても報告しなかったり、後々大きなトラブルになってしまうこともあります。

エドモンドソン氏は著書『恐れのない組織』で、さまざまな事例を基に、心理的安全性の高さが組織やチームのパフォーマンスやイノベーション創出に重要であることを記しています。また心理的安全性が高ければ、各メンバーがミスや懸念を共有することで衆知を集めやすくなるので、問題の早期発見、トラブルの拡大防止や回避、また根本解決につながります。

心理的安全性を測定する方法として、エドモンドソン教授が提唱した7つの質問があります。お時間がありましたら検索してみてください。(文責：大内 幸敏)

「令和6年能登半島地震」の災害における義援金の募集について

INFORMATION

令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

本会では、この地震による災害について1月11日に激甚災害に指定されたことから、下記の通り義援金の募集を実施させていただきます。ご賛同いただけます方は、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 義援金募集の目的

令和6年能登半島地震に起因する、日本診療放射線技師会会員の人的被害および会員が主として居住する家屋の損壊に対する支援を目的とします。

2. 義援金配布先

2024年4月30日(火)までに、都道府県(診療)放射線技師会会長より本会災害対策委員長へ通知のあった被災会員を対象とし、配布額は本会規程により決定します。

3. 義援金募集期間

2024年1月24日(水)から4月30日(火)まで

4. 義援金受入れ口座

銀行名：りそな銀行 芝支店
口座番号：普通口座 1569223
口座名：公益社団法人日本診療放射線技師会支援金受付

5. 備考

募集した義援金のみを対象とし、救援物資などの募集は致しません。

令和6年能登半島地震で被災された皆さまの会費免除について

INFORMATION

令和6年能登半島地震により被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

現在、本会では被災地区技師会を通じて会員の被災状況の把握に努めております。

この地震により、ご自身またはご自宅が被害を受けられた会員の皆さまにおかれましては、規程にのっとり次年度以降の会費免除の申請を行うことができますので、「被災者調査回答票」に被害状況を記入の上、必要書類等を添えて所属地区技師会までご提出ください。



B03_会費等納入規程
B03-01_会費等納入に関する細則
<https://www.jart.jp/process/teikansyokitei.html>



「被災者調査回答票」
<https://www.jart.jp/process/youshiki.html>

※「3月・4月の講習会などスケジュールのご案内」は5ページに掲載しています。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。